



## 安全データシート

## 1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: ドーシャスフロアブル(シアゾファミド・TPN 水和剤)
- 1.2 用途: 殺菌剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社  
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号  
担当部門 バイオサイエンス事業本部 開発マーケティング部  
電話:06-6444-7154 FAX:06-6444-7156
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部  
電話:06-6444-7152
- 1.5 作成日: 2004年6月17日  
改訂日: 2024年4月22日⑥

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先: 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

## 2 危険有害性の要約

## 2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアルによる分類(改訂6版)

## 物理化学的危険性:

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

## 健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1B
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

## 環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
----------------	------

## 安全データシート

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1

オゾン層有害性

分類できない

## 2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアル(第6改訂版)による表示

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H319

強い眼刺激

H317

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H351

発がんのおそれの疑い

H361

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

H400

水生生物に非常に強い毒性

H410

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

## 【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264

取扱い後、手をよく洗うこと。

P280

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

P261

ミスト、蒸気の吸入を避けること。

P272

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P201

使用前に取扱説明書入手すること。

P202

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P273

環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

P305+P351

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337+P313

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

P302+P352

皮膚についた場合:多量の水で洗うこと。

P333+P313

皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診察/手当を受けること。

P362+P364

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P308+P313

ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断／手当を受けること。

P391

漏出物を回収すること。

## 【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P405

施錠して保管すること。

## 【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501

内容物／容器は、国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

## 2.3 その他の危険有害性: 特になし

## 3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:



## 安全データシート

一般名	TPN(クロロタロニル)	シアゾファミド	水・界面活性剤等
化学名	テトラクロロ イソフタロニトリル	4-クロロ-2-シアノ-N,N-ジメチル-5-p- トリルイミダゾール-1-スルホンアミド	—
含有率	40.0%	32%	56.8%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に規制される物質 3-1805	農薬取締法に規制される物質	非公開
官報公示整理番号 安衛法	4-(7)-539	8-(2)-2230	非公開
CAS No.	1897-45-6	120116-88-3	非公開

#### 4 応急措置

##### 4.1 応急措置の記載

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに、皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗浄すること。  
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。

4.2 最も重要な兆候及び症状: データなし。

4.3 医師に対する特別な注意事項: データなし。

#### 5 火災時の措置

- 5.1 適切な消火剤: 水、粉末、炭酸ガス、泡消火剤
- 5.2 使ってはならない消火剤: データなし
- 5.3 特有の危険有害性: 燃焼時、有毒ガス(CO、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、HCl等)が発生する。
- 5.4 特有の消火方法: 小さな火災の場合は粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行う。  
大規模火災の場合は、水や泡消火剤等を用いて空気を遮断する。
- 5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置: 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行かない有害ガスの吸入を避ける。

#### 6 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 適切な保護具を着用する。  
多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。
- 6.2 環境に対する注意事項: 環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材: 少量の場合は、土砂、ウエス等に吸着させて回収する。  
大量の場合は、流出を土嚢等により止め、周辺にロープ等を張って火気を遠ざけると共に関係者以外は立入禁止として保護具を着用して回収する。
- 6.4 二次災害の防止措置: 漏出物を回収すること。  
安全に対処できるならば漏洩をとめること。



## 安全データシート

**7 取扱い及び保管上の注意**

## 7.1 取扱い:

技術的対策:	データなし
安全取扱い注意事項:	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト、蒸気の吸入を避けること。
接触回避:	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
衛生対策:	取扱い後は手および眼をよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

## 7.2 保管:

安全な保管条件:	施錠して保管すること。 密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当たらない冷涼な場所で保管すること。
安全な容器包装材料:	データなし

**8 ばく露防止及び保護措置**

## 8.1 許容濃度等:

管理濃度:	設定されていない
許容濃度:	設定されていない

## 8.2 設備対策: 局所排気装置

## 8.3 保護具:

呼吸用保護具:	有機ガス用マスク・送気マスク・空気呼吸器
手の保護具:	ゴム手袋・ビニール手袋
目、顔面の保護具:	ゴーグル
皮膚及び身体の保護具:	ゴム長靴・保護服

## 8.4 特別な注意事項:

**9 物理的及び化学的性質**

9.1 物理状態:	粘稠懸濁液体
9.2 色:	類白色
9.3 臭い:	データなし
9.4 融点/凝固点:	データなし
9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲:	データなし
9.6 可燃性:	データなし
9.7 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
9.8 引火点:	データなし
9.9 自然発火点:	データなし
9.10 分解温度:	データなし
9.11 pH:	7.0(20%懸濁液)
9.12 動粘性率:	データなし
9.13 溶解度:	水に懸濁分散
9.14 n-オクタノール/水分配係数:	データなし
9.15 蒸気圧:	データなし
9.16 相対密度:	1.25 (25 °C)
9.17 相対ガス密度:	データなし
9.18 粒子特性:	データなし

**10 安定性及び反応性**

10.1 反応性:	データなし
10.2 化学的安定性:	通常の条件下で安定
10.3 危険有害反応可能性:	データなし
10.4 避けるべき条件:	データなし
10.5 混触危険物質:	データなし



## 安全データシート

10.6 危険有害な分解生成物: 燃焼により、CO、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、HCl等が生成する。

## 11 有害性情報

11.1 急性毒性: 経口 LD<sub>50</sub> >2500mg/kg (ラット♂、♀)  
経皮 LD<sub>50</sub> >2000mg/kg (ラット♂、♀)  
吸入 データなし

11.2 皮膚腐食性/刺激性: 刺激性なし(ウサギ)

11.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 刺激性あり(ウサギ)

11.4 呼吸器感作性又は皮膚感作性: 呼吸器感作性: データなし  
皮膚感作性: 陽性(モルモット)

11.5 生殖細胞変異原性: 分類できない

11.6 発がん性: 区分2のクロロタロニルを40.0%含むため区分2とした。  
(シアゾファミドは発がん性なし)

11.7 生殖毒性: 区分2のクロロタロニルを40.0%含むため区分2とした。  
(シアゾファミドは生殖毒性なし)

11.8 特定標的臓器毒性(単回ばく露): データなし。

11.9 特定標的臓器毒性(反復ばく露): データなし。

11.10 誤えん有害性: データなし。

## 12 環境影響情報

12.1 生態毒性: 水生環境有害性 短期(急性)  
コイ LC<sub>50</sub> 0.13mg/L (96時間)  
オオミジンコ EC<sub>50</sub> 0.33mg/L (48時間)  
藻類 ErC<sub>50</sub> 2.2 mg/L (72時間)  
水生環境有害性 長期(慢性)  
藻類 NOEC 0.125mg/L (72時間)

12.2 残留性・分解性: データなし

12.3 生体蓄積性: データなし

12.4 土壤中の移動性: データなし

12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13 廃棄上の注意

内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

13.1 内容物の廃棄: 焼却時、有害ガス(CO、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、HCl等)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。

13.2 容器の廃棄: 内容物を使い切った後、適切に処理する。

## 14 輸送上の注意

14.1 国連番号: 3082  
品名: Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.(シアゾファミド、TPN)  
国連分類: 9  
容器等級: III

14.2 海洋汚染物質: 該当

14.3 MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質: 非該当

14.4 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策: 定められた密閉の袋に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよう積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。

14.5 国内規制がある場合の規制情報: 陸上規制情報: 非該当  
航空規制情報: 航空法の規制に従う  
海上規制情報: 船舶安全法の規制に従う

14.6 応急措置指針番号: 171



## 安全データシート

## 15 適用法令

農薬取締法:	農薬登録番号 第21199号
毒物及び劇物取締法:	該当しない
消防法:	該当しない
労働安全衛生法:	第57条(表示対象物質) 該当しない 第57条の2(通知対象物質) 該当しない
化審法:	旧第2種監視化学物質 TPN(クロロタロニル)
化管法:	第1種指定化学物質 TPN(クロロタロニル)(管理番号:260) 40.0% 第2種指定化学物質 該当しない

## 16. その他の情報

本SDSは株式会社エス・ディー・エス バイオテック「SDSドーシヤスフロアブル」安全データシート(改訂日:2023年3月24日)をもとに作成しています。

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)  
※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話	(大阪)	072-727-2499(情報料無料)
	(つくば)	029-852-9999(情報料無料)
		365日24時間対応
中毒110番 医療機関専用有料電話	(大阪)	072-726-9923(1件2000円)
	(つくば)	029-851-9999(1件2000円)
		365日24時間対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

## SDS 作成部門

石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部  
電話:06-6444-7152

## SDS 承認部門

三重県四日市市石原町1番地  
石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ  
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206

## 記載内容の取扱い

本SDSの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。